

# リレー日本銅



## リオ五輪に続き表彰台 世界陸上 今大会日本初メダル

【ロンドン共同】陸上の世界選手権第9日は12日、ロンドンで行われ、男子400リレー決勝で多田修平（関学大）飯塚翔太（ミズノ）桐生祥秀（東洋大）藤光謙司（ゼンリン）の日本は38秒04で3位に入り、大会史上初の銅メダルに輝いた。

### ボルト負傷、途中棄権

昨年のリオデジャネイロン・ボルトがアンカーをロ五銀メダルに続く表務めたが、バトンを受け彰台で、今大会の日本勢取った直後に脚を痛めて男女を通じて初のメダル獲得となった。  
ジャマイカは現役最後のレースとなったウサイン・ボルトは37秒47で初優勝、米国の37秒52で2位だった。

Ⓛ男子400リレーで銅メダルを獲得し、日の丸を背に喜ぶ(左から)多田、藤光、飯塚、桐生  
Ⓧ男子400リレー決勝で脚を痛めて倒れ込み、ゴールを見つめるジャマイカのアンカー、ボルト=ロンドン(共同)

